

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

| | |
|-----------------------|---|
| <p>①チーム名 (呼称)</p> | <p>つくば市家庭教育支援チーム (呼称:特定非営利活動法人ままと一ん) URL: https://www.mamatone.org/</p> |
| <p>②活動拠点</p> | <p>つくば市館野</p> |
| <p>③活動範囲</p> | <p>つくば市を中心とした県南地域</p> |
| <p>④組織体制</p> | <p>45 人 正会員:45 人(教員免許保持者8名、養護教諭1名、看護師2名、保育士9名、薬剤師1名、幼稚園教諭5名、保健師1名、学童支援員1名、思春期保健相談師1名、日本思春期学会性教育認定講師1名、子育てサポーター15名) 賛助会員:29人(個人9人、法人20人)</p> |
| <p>⑤活動開始年度</p> | <p>平成11年度(平成11年NPO法人設立)</p> |
| <p>⑥問合せ先</p> | <p>(部署・氏名等) NPO 法人ままと一ん 代表理事 間野 聡子 (TEL)029-838-5080 (E-mail)npo@mamatone.org</p> |

(2)活動内容について

| | |
|-----------------------------|--|
| <p>①活動形態 (複数チェック可能)</p> | <p><input checked="" type="checkbox"/>保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/>保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/>アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input checked="" type="checkbox"/>自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/>保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/>その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/>その他(「赤ちゃんが学校にやってくる！」事業)</p> |
|-----------------------------|--|

| | |
|--------------------------------------|---|
| <p>②活動対象 (複数チェック可能)</p> | <p><input checked="" type="checkbox"/>乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/>小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/>小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/>小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/>中学生 <input checked="" type="checkbox"/>高校生以上</p> <p>の子供を持つ保護者に対する活動を実施</p> |
| <p>③活動内容</p> | <p>【具体的な活動内容】</p> <p>①つくば市地域子育て支援拠点事業「ままとーん つどいの広場」 ②つくば市マタニティサロン「先輩ママとの交流会」講師 ③つくば市マタニティ講演会「先輩パパの経験談」講師 ④「赤ちゃんが学校にやってくる」事業(赤ちゃんとその親と共に、依頼のあった小・中・高校へ行き、児童・生徒へ出産・育児体験を話してもらったり、赤ちゃんとのふれあい体験を行う。)(茨城県補助事業「高校生のライフデザインセミナー」及び自主事業) ⑤地域子育て情報誌 フリーペーパー「ままとーん #しゃあぷ」制作・発刊 ⑥SNSでの子育て情報の発信(ホームページ、Facebook、Instagram、LINE公式アカウント)</p> |
| <p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p> | <p>①～③: 活動するスタッフも子育て中の親なので、支援対象者とも当事者同士の対等な関係で悩みを話したり共感したりしやすく、お互いに得るものがあり、場を共有する全員が居心地のよさを感じられるように活動しています。また、子どもの年代や生活状況などが様々な親との交流ができ、自分の子の将来や親が自身のことを考える上での参考になります。また、スタッフ自身のスキルアップの場として、イベント等で講師を務めてもらったり、子育て支援に関する講座の受講を支援したりしています。</p> <p>①: お昼の時間にみんなで一緒にご飯を食べるので、その場を共有することで他の親子の食事の様子を知ることができたり、何気ない会話の中で育児のヒントを得たり、悩んでいるのは自分だけではないと感じたりすることができます。</p> <p>②③: 市の初妊婦さん向け講座の一部で「先輩ママ」として赤ちゃん連れスタッフが伺い、自身の経験からのお話をしつつ妊婦さんと交流する時間を受け持っています。また、市の赤ちゃんを迎える予定のご夫婦向け講座の一部で「先輩パパ」としての経験談をお話する時間を受け持っています。どちらもスタッフが自身の出産や育児の実体験を話したり、質問に答えたりして、参加者に出産後の生活のイメージを具体的に持って頂いたり、子育て支援拠点などの様々なサポートの紹介をすることで、つながりを作り孤独な育児に陥らないよう支援しています。</p> <p>④: 2012年から「いのちの出前授業」(現「赤ちゃんが学校にやってくる」)を自主事業として開始し、現在は一部の高校での開催は茨城県からの補助事業として支援を受けて開催するようになりました。開催校での事前事後アンケートから、先生方からは「通常の生徒の様子とは違う一面が見られてよかった」などの声を頂いたり、児童・生徒では子育てに対してのイメージが肯定的に変化したりしています。また、お話をする赤ちゃん連れの親も、地域の</p> |

| | |
|------------------------------------|---|
| | <p>学校の子どもたちに自身の体験を話すことを通して出産・育児の追体験をすることで、改めて自分の子どもへの愛情を感じ、「参加して本当によかった」という声をいただいています。</p> <p>⑤⑥フリーペーパー制作やSNSで子育て中の当事者目線での情報発信を通して、スタッフのスキルアップにつながっています。また、それらを見た親が子育て支援拠点などの支援や人とつながったり、ままと一んの活動に興味を持ってくださったり参加してくださったりにもつながっています。</p> |
| <p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p> | <p><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (地域子育て支援拠点事業の委託金と会員からの会費・寄付など)</p> |